

みんなできつくりつう大船渡 市民活動の輪

—第107回—



（一社）日本ツバキ協会大船渡支部

■活動の目的「百年後の「椿の里」を夢見て」

市内を中心とする椿の調査や保護・育成を通じて地域のツバキ文化の向上と「椿の里」のまちづくりに寄与することを目的に活動しています。

■どんな団体？

当会は、平成12年に開催された第10回全国椿サミット大船渡大会を準備する中で誕生



世界の椿館での伝統独楽廻し交流会

し、その後も大会へ参加してきました。

また、椿の講演会、挿し木・接ぎ木の講習会、市内の主要な椿の古木視察ツアーなどの行事に取り組んでいます。

令和3年度は、市民活動支援事業補助金を活用し、「ツバキ材の有効活用推進事業」を実施しました。これは、剪定や間伐、工事などで、やむを得ず伐採される椿を、無駄にせず有効活用する取り組みです。幹や枝のみでなく、葉や花も丸ごと活用することを試みました。

例えば、木工製品に適したものは木工製品、適さない細かいものは「椿炭」や「椿灰」、花は「椿染」の制作などです。また、神奈川県藤沢市の片瀬こま保存会の協力で「片瀬

市は、ともに協働するまちづくりを目指しています。このコーナーでは、大船渡市民活動支援センター協力のもと、市内の市民活動団体やイベント情報などを紹介します。

第107回は、「（一社）日本ツバキ協会大船渡支部」の紹介です。

独楽」を制作し、市内の小学児童にプレゼントしました。

令和4年度は、「椿の里、次の百年への展望フォーラム事業」として、「三面椿と世界の椿事情」の講演会、「椿の歴史と文化展」、独楽廻し交流会などを実施しました。

■皆さんに一言

椿は、実から良質の椿油がとれるだけでなく、材は緻密で良質ですが、成長には長い年月を要します。

今後とも椿を大切にし、椿を活かしたまちづくりのための活動に取り組みます。

▽問い合わせ先

一般社団法人日本ツバキ協会大船渡支部

(☎)

市民活動インフォメーション

みんなで一緒に学ぼう会～その103～

「これからの地区・地域のまちづくりに役立てよう！」「自分たちでできる会議・話し合いの場について学ぼう！」意見の引き出し方、組み立てやまとめ方など、円滑に進める方法を学びます。

- ▷講師＝三浦まり江さん（特定非営利活動法人陸前高田まちづくり協働センター）
- ▷日時＝3月16日（木）午後1時30分～3時
- ▷場所＝キャッセン大船渡コミュニティスペース

知っていると役立つ！ 会議・話し合いの進め方

- ▷参加費＝無料
- ▷定員＝15人
- ▷申込方法＝電話、Eメール、2次元コードのいずれかから申し込みください。
- ▷申込締切日＝3月9日（水）
- ▷申込先・問い合わせ先
大船渡市民活動支援センター（☎④5702）
【Eメール】shimin@ofunatocity.jp



申込フォーム